

interview

協会は「基本的なスタンスを守ること」が大事



奥村 勝 オクネット代表 歯科ジャーナリスト

奥村 勝 (おくむら・まさひろ) オクネット代表、歯科ジャーナリスト、明治大学政治経済学部卒業、東京歯科大学卒業、日本歯科新聞社記者、雑誌編集長を歴任、退社。さらに医学情報社創刊雑誌の編集長歴任。その後、独立オクネットを設立。「歯科ニュース」「永田町ニュース」をネット配信。明治大学校友会代議員(兼墨田区地域支部長)、明大マスコラブ会員。

毎月、全国の保険医協会・医会、保団連ほか医療関係団体による国会内集会在開催される。一般紙、テレビ、専門紙ほか、各種メディアも取材に訪れるが、取材陣の中で毎回、老練な方をお見受けする。レコーダーなし、キーボードも叩かず…。じっくり聞きながら時折メモを走らせる。それでいて、翌日の配信ニュースは適時適切な内容、文字数、表現だ。その人物が、今回ご紹介する奥村勝氏である。

奥村氏は、自身が設立したオクネットの代表で、企業勤務を経て歯科技工士を務め、その後、歯科医療関連専門誌の編集長として取材、編集に携わるなど、異色の経歴を持つ存在だ。「歯科ジャーナリスト」「歯系議員」などの用語は奥村氏作といわれている。その奥村氏には、協会の機関紙「東京歯科保険医新聞」の2022年10月号から本年4月号まで、延べ18回にわたり「歯科界への私的回想録」を連載していただいた。今回は連載時に思ったこと、協会への一言などを中心にお話を伺った。

口腔をサポートする歯科は責任重大

一聞き手 今回の連載終了にあたり、思うところをお聞かせください。

◆奥村氏 連載前の構想と、連載開始後の原稿内容はかなり異なりました。歯科医師と患者さんとその家族、歯科技工士とスタッフなどを巡るコミュニケーションの大切さをもっと全面的に押し出したり、もっと歯科技工士の本音や自分自身の考え方を打ち出しても良かったかなとも思いました。

◆奥村氏 連載初回に、ご自身の口唇口蓋裂の手術に至るまでの経緯などを紹介されましたが、このことこのこと、歯科への意図は、

◆1954年生まれの私は、この癪痕のため、子ども時代からいろいろなことを経験しました。しかし時間が経つとともに、「口の中は目に見えないが、大事だ」ということに気がきました。口唇口蓋裂は、その人の人生そのものです。ま

た、会話の時も食べる時も、口は大事。そして、これをサポートする歯科は責任重大ということです。

◆政治経済学部で学んだ後、歯科技工士の道に進まれましたが、そのきっかけ、歯科技工現場での経験などについて。

◆私の父は、蔵前のプラモデル製造、プラスチックと塩化ビニール加工の営業・卸の会社に勤務していました。大学進学の中で押しもたれぬ、大学卒業後、1年半はインテリア業界で働きました。手仕事に長けていた父から手につけることの大切さを論じられ、「口」に縁のある歯科技工士を思い浮かべ、東京歯科技工専門学校(2010年閉校)に入学しました。卒業後は新小岩駅近郊の歯科診療所の院内ラボに入り、当時の院長から「歯科技工士は、10年やってみようか」という目標を押し付けられた。診療所内で自作の歯科技工物への患者さんの反応を見たり、話をする中で、「診療所内では、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、スタッフさんとのコミュニケーションが非常に大事だ」と実感しました。

◆取材時には、キーワードをメモするだけです。キーワードにはイメージが残っていますから、後でそれを読むと大事な言葉が脳裏に

鮮明に表れます。あとは、資料の要旨、概要を参考にします。人脈については、国会、役所を問わず、慌ただしい時にはなく「つまらぬ、時に足を運ぶこと」が大事。大雨、電車が連休、国会休会中などにどうしようがない状況があるようすがインパクトがあるようすが、また、取材相手と自分の意見が違ふ時は必ずその理由を聞く。これは、きっかけを作る上で重要。ただ最初から「人脈を作ろう」と力むのは良くないです。

◆記者会見では、参加者は主催者側の意向に一定の配慮をします。しかし、懇談会はそうではありません。記者会見でも懇談会でも、終了後に雑談や話し込むことができれば大したものだと思います。協会のメディア懇談会は終了後に場所を移して懇談を行い、参加メディアの記者、編集者、協会の役員、事務局員が面と向かって意見したり、記者同士の知見を持ち寄りたりしています。こういった情報面での交流ができることは、とても大事です。今の時代は、IT、AI、SNSなど、さまざまな情報伝達手段がありますが、どのようなコミュニケーションであっても、やはり今後も話し手と聞き手が向かい合っていて、直接、言葉でやり取りし、相手の語気や表情を五感で感じながら行う対話、会話はやはり大切ではないかと思えます。このことは、歯科診療所での院長、患者さん、スタッフのコミュニケーションづくり、さらに最近では、歯科と関連がある様々な関連職種の人たちとのコミュニケーションづくりにも、通じるものがあると思います。

取材の実際と人脈作りの要諦

◆取材時には、キーワードをメモするだけです。キーワードにはイメージが残っていますから、後でそれを読むと大事な言葉が脳裏に

鮮明に表れます。あとは、資料の要旨、概要を参考にします。人脈については、国会、役所を問わず、慌ただしい時にはなく「つまらぬ、時に足を運ぶこと」が大事。大雨、電車が連休、国会休会中などにどうしようがない状況があるようすがインパクトがあるようすが、また、取材相手と自分の意見が違ふ時は必ずその理由を聞く。これは、きっかけを作る上で重要。ただ最初から「人脈を作ろう」と力むのは良くないです。

◆記者会見では、参加者は主催者側の意向に一定の配慮をします。しかし、懇談会はそうではありません。記者会見でも懇談会でも、終了後に雑談や話し込むことができれば大したものだと思います。協会のメディア懇談会は終了後に場所を移して懇談を行い、参加メディアの記者、編集者、協会の役員、事務局員が面と向かって意見したり、記者同士の知見を持ち寄りたりしています。こういった情報面での交流ができることは、とても大事です。今の時代は、IT、AI、SNSなど、さまざまな情報伝達手段がありますが、どのようなコミュニケーションであっても、やはり今後も話し手と聞き手が向かい合っていて、直接、言葉でやり取りし、相手の語気や表情を五感で感じながら行う対話、会話はやはり大切ではないかと思えます。このことは、歯科診療所での院長、患者さん、スタッフのコミュニケーションづくり、さらに最近では、歯科と関連がある様々な関連職種の人たちとのコミュニケーションづくりにも、通じるものがあると思います。

◆取材時には、キーワードをメモするだけです。キーワードにはイメージが残っていますから、後でそれを読むと大事な言葉が脳裏に

鮮明に表れます。あとは、資料の要旨、概要を参考にします。人脈については、国会、役所を問わず、慌ただしい時にはなく「つまらぬ、時に足を運ぶこと」が大事。大雨、電車が連休、国会休会中などにどうしようがない状況があるようすがインパクトがあるようすが、また、取材相手と自分の意見が違ふ時は必ずその理由を聞く。これは、きっかけを作る上で重要。ただ最初から「人脈を作ろう」と力むのは良くないです。

◆記者会見では、参加者は主催者側の意向に一定の配慮をします。しかし、懇談会はそうではありません。記者会見でも懇談会でも、終了後に雑談や話し込むことができれば大したものだと思います。協会のメディア懇談会は終了後に場所を移して懇談を行い、参加メディアの記者、編集者、協会の役員、事務局員が面と向かって意見したり、記者同士の知見を持ち寄りたりしています。こういった情報面での交流ができることは、とても大事です。今の時代は、IT、AI、SNSなど、さまざまな情報伝達手段がありますが、どのようなコミュニケーションであっても、やはり今後も話し手と聞き手が向かい合っていて、直接、言葉でやり取りし、相手の語気や表情を五感で感じながら行う対話、会話はやはり大切ではないかと思えます。このことは、歯科診療所での院長、患者さん、スタッフのコミュニケーションづくり、さらに最近では、歯科と関連がある様々な関連職種の人たちとのコミュニケーションづくりにも、通じるものがあると思います。

◆取材時には、キーワードをメモするだけです。キーワードにはイメージが残っていますから、後でそれを読むと大事な言葉が脳裏に

鮮明に表れます。あとは、資料の要旨、概要を参考にします。人脈については、国会、役所を問わず、慌ただしい時にはなく「つまらぬ、時に足を運ぶこと」が大事。大雨、電車が連休、国会休会中などにどうしようがない状況があるようすがインパクトがあるようすが、また、取材相手と自分の意見が違ふ時は必ずその理由を聞く。これは、きっかけを作る上で重要。ただ最初から「人脈を作ろう」と力むのは良くないです。

◆記者会見では、参加者は主催者側の意向に一定の配慮をします。しかし、懇談会はそうではありません。記者会見でも懇談会でも、終了後に雑談や話し込むことができれば大したものだと思います。協会のメディア懇談会は終了後に場所を移して懇談を行い、参加メディアの記者、編集者、協会の役員、事務局員が面と向かって意見したり、記者同士の知見を持ち寄りたりしています。こういった情報面での交流ができることは、とても大事です。今の時代は、IT、AI、SNSなど、さまざまな情報伝達手段がありますが、どのようなコミュニケーションであっても、やはり今後も話し手と聞き手が向かい合っていて、直接、言葉でやり取りし、相手の語気や表情を五感で感じながら行う対話、会話はやはり大切ではないかと思えます。このことは、歯科診療所での院長、患者さん、スタッフのコミュニケーションづくり、さらに最近では、歯科と関連がある様々な関連職種の人たちとのコミュニケーションづくりにも、通じるものがあると思います。

理事会だより

2024年度 第2回(暫定) 第3回(暫定) 理事会

◆第2回暫定理事会◆

4月26日(金)、午後8時00分〜10時00分。会長、副会長5名、理事16名、監事2名、事務局5名の出席。

【情勢報告】 オンライン資格確認システム義務化、健康保険証の廃止、グループ集団訴訟などの報告を確認。

【運動課題】 国会内集会、国会行動の予定を確認。現行の健康保険証の廃止(4月20日)の報告、存続を求める署名の集約状況などの報告、4月からの取り組みの提案を確認。

【政策課題】 ① 理事会声明「理解が困難な改定必要な歯科医療が提供できる改定を切望する」、地域医療部長談話「患者を最期まで診るために求められること」を確認。② 第2回新点数説明会(4月25日)の報告を確認。

現場で役に立つ“本作り”を目指しています。

Advertisement for dental books: 歯科医療事務 症例と解説, カルテの手引き, 歯科アシスタント MY BOOK. Includes prices and contact info for A-tenタルサービス.

【定期総会の準備】 議案について討議。決算案、予算案についての報告を告説明会への(5月22日)への参加を案内。

【政策課題】 ① 診療報酬改定情報(疑義解釈その2、長期収載品の処方または調剤に係る選定療養の対象医薬品について)の通知などを確認。② 歯科医療費の総枠拡大にうけて、今次改定内容の求められた。そのため、6月3日までに口管強の施設基準をすべて満たして、再届出が必要になったことについて討議。また、歯科用材料価格の通知発出に伴い、6月から金バラなどの点数をF-Nexで会員に周知することを確認。ベースアップ評価料について、協会25名、退会17名。

【情勢報告】 ① 「オンライン資格確認義務不存」

【運動課題】 ① 「国会内集会、国会行動の予定を確認。現行の健康保険証の廃止(4月20日)の報告、存続を求める署名の集約状況などの報告、4月からの取り組みの提案を確認。

【政策課題】 ① 診療報酬改定情報(疑義解釈その2、長期収載品の処方または調剤に係る選定療養の対象医薬品について)の通知などを確認。② 歯科医療費の総枠拡大にうけて、今次改定内容の求められた。そのため、6月3日までに口管強の施設基準をすべて満たして、再届出が必要になったことについて討議。また、歯科用材料価格の通知発出に伴い、6月から金バラなどの点数をF-Nexで会員に周知することを確認。ベースアップ評価料について、協会25名、退会17名。

Table with columns for date, day, and meeting name. Meetings include 2nd General Meeting, 3rd Board Meeting, etc.